

抜群の施工精度を誇るPC200i-11



南建設(石川県志賀町、南裕基社長)はこのほど、コマツが新たに開発したインテリジェントマシンコントロール油圧ショベル「PC200i-11」を導入した。自社保有は石川県内において初という。国交省が推進するICT活用の「アイコンストラクション」に対応、一層の使いやすさと効率化を実現した最新鋭建機に注目が集まる。

南建設は前機となる「PC200i-10」も使用していたが、今回、性能が格段にアップした新機「PC200i-11」の導入を即断した。GNSS(全球衛星測位システム)アンテナと補正情報で算出したバケット刃先の位置と3次元設計データを基に、操作をセミオート化する。新たに、日本のみちびき(準天頂衛星システム、QZSS)や中国、ヨーロッパ等のGNSSを含むマルチGNSSに対応したこ

マルチGNSSでさらに高精度

# 最新インテリジェント油圧ショベル導入

## 南建設(志賀町)

とで、より高精度で進化したマシンコントロールを実現した。

ダンプロトラックの運搬土量を最大化するペイロードメータも新たに搭載。タブレットによる簡単な操作で、バケットで掘削した土の重量を表示、ダンプロトラックへの積載重量が管理できる。

その他、コントロールボックスを12・1枚の大画面とし、さらに見やすく、使いやすくしている。現場の可視化を実現するスマートコンストラクションアプリ、ステレオカメラで地形を測量する「KomEye」もアップグレードした。

南裕基社長は、「これまではGPSの電波が十分に届かなかった山地などの現場でも、新機PC200i-11は抜群に高い精度での施工を実現してくれる。今後、一層積極的に、情報化施工に取り組んでいきたい」と語っている。

# 石川県内で初めて